

# 11. 今後の取組

## 「自死関連」 会員アンケートの実施

臨床心理士はさまざまな場で、自殺を試みた方、深い厭世気分をもつ方、そのようなご家族をもつ方、あるいは遺族となった方に出会っている。しかし当会としてその活動の全容を把握することはできていない。

24年7月に、全会員にアンケートを行い、どのような職場で、どのような方々に会い、どんなことを大事にしながら心理支援を行っているのかを調査中である。

## 12. 臨床心理士の課題

自死の問題に取り組むには集中したエネルギーが必要である。

個々の人々のこころの内面及びその方が置かれている環境条件などに関する適切なアセスメントが重要であり、一人ひとりにふさわしい方法で、生きる力の活性化に向けた働きかけが必要となる。

年齢、性別、立場を異にしても誰も人は、その人らしく自分の存在を肯定し、生を享受できるように、その人に身を添わせる心持ちで個別に即応して支援していきたい。人の尊厳がややもすると冒されがちな現代において、存在すること自体が尊い、という思いを人が抱けるようにささやかながら支援したい、これが臨床心理士の営みの本質的課題であると考えている。